

Economic Indicators

発表日: 2022 年 3 月 25 日 (金)

主要経済指標予定(2022 年 3 月 28 日～4 月 1 日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(3 月 28 日～4 月 1 日の主なイベント、指標予定)

	指 標 名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
3 月 28 日 (月)					
3 月 29 日 (火)	8:30 2 月労働力調査 完全失業率	2.8%	2.8%	2.7%～2.9%	2.8%
	8:30 2 月一般職業紹介状況 有効求人倍率	1.20 倍	1.20 倍	1.17 倍～1.22 倍	1.20 倍
	8:50 2 月製造業部門別投入・産出物価指数				
	8:50 日銀金融政策決定会合「主な意見」 (3 月 17・18 日分)				
3 月 30 日 (水)	8:50 2 月商業動態統計・速報 小売業販売額 (前年比)	▲0.4%	▲0.3%	▲1.5%～+2.2%	+1.1%
3 月 31 日 (木)	8:50 2 月鉱工業指数・速報 生産 (前月比) (前年比)	+0.5% +0.6%	+0.5% +0.8%	▲0.4%～+2.4% 0.0%～+2.5%	▲0.8% ▲0.5%
	14:00 2 月住宅着工統計 新設住宅着工戸数 (前年比) (季調値年率)	▲1.0% 81.8 万戸	+1.1%	▲2.3%～+3.0%	+2.1% 82.0 万戸
	14:00 1 月サービス産業動向調査 売上高 (前年比)	—	—	—	+1.9%
	4 月 1 日 (金)				
	8:50 3 月日銀短観 業況判断 DI・大企業製造業 (最近) (先行き)	6 6	12 10	6～23 3～17	18 13
	大企業非製造業 (最近) (先行き)	5 6	5 8	2～10 3～18	9 8
	中小企業製造業 (最近) (先行き)	▲7 ▲8	▲6 ▲9	▲12～2 ▲12～0	▲1 ▲1
	中小企業非製造業 (最近) (先行き)	▲9 ▲8	▲8 ▲8	▲14～2 ▲13～▲3	▲4 ▲6
	14:00 3 月新車販売台数 乗用車 (前年比)	—	—	—	▲18.6%
	軽乗用車 (前年比)	—	—	—	▲22.1%

日銀短観 3月調査 業況判断DI・大企業製造業（最近） 当社予想：6 中央値：12

次回3月の短観の業況判断DIは、大企業・製造業で▲12ポイントの悪化となる予想である。ウクライナ侵攻が原油高として表れて、企業マインドを冷え込ませる。コロナ禍からの回復途上で、急激な原油高に見舞われたことは不運である。それが2022年度事業計画にどう表れるかをつぶさに確認したい。

（首席エコノミスト：熊野 英生）

2月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：2.8％／1.20倍 中央値：2.8％／1.20倍

失業率は前月と同水準を予想。新型コロナウイルス感染者数の増加やまん延防止等重点措置の適用により2月の景気は下押しされたとみられ、雇用にも悪影響が出た可能性が高い。

（経済調査部長・主席エコノミスト：新家 義貴）

2月小売業販売額 当社予想：前年比▲0.4％ 中央値：同▲0.3％

2月の小売業販売額は、感染再拡大に伴う外出手控えを背景とした百貨店や衣料品店の販売額の減少や、部品供給不足による自動車販売額の減少などが主な減少要因となり、前月比で▲0.4％の減少を予想する。先行きについては、感染状況の改善やそれに伴うまん延防止等重点措置の全面解除によってサービス消費を中心に持ち直しの動きが見られるだろう。

（主任エコノミスト：小池 理人）

2月鉱工業生産指数 当社予想：前月比＋0.5％ 中央値：同＋0.5％

2月の鉱工業生産は、半導体不足や感染状況の悪化等により、前月比で＋0.5％の上昇を予想する。先行きについては、ウクライナ情勢の悪化を背景としたエネルギーや原材料価格の高騰やサプライチェーンの乱れにより、生産の回復ペースは緩慢なものになることが見込まれる。

（主任エコノミスト：小池 理人）

2月新設住宅着工戸数 当社予想：前年比▲1.0％ 中央値：同＋1.1％

2月の新設住宅着工数は、前年比▲1.0％、季節調整値（年率換算）で81.8万戸と予想する。感染拡大による先行き不透明感の高まりで購入の手控えや住宅投資意欲の低下があったとみられ、年末にかけての受注動向が下振れていたことから、住宅着工数（季節調整値）も81.8万戸と低水準での推移が続くとみられる。先行きについても、当面は弱含みで推移していくと見込まれる。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

図表1

(図表1) 日銀短観(2022年3月調査)の予測値

		業況判断DI			
		大企業		中小企業	
		製造業	非製造業	製造業	非製造業
2019年	3月調査	12	21	6	12
	6月調査	7	23	-1	10
	9月調査	5	21	-4	10
	12月調査	0	20	-9	7
2020年	3月調査	-8	8	-15	-1
	6月調査	-34	-17	-45	-26
	9月調査	-27	-12	-44	-22
	12月調査	-10	-5	-27	-12
2021年	3月調査	5	-1	-13	-11
	6月調査	14	1	-7	-9
	9月調査	18	2	-3	-10
	12月調査	18	9	-1	-4
見通し	3月調査	6	5	-7	-9
	先行き	6	6	-8	-8

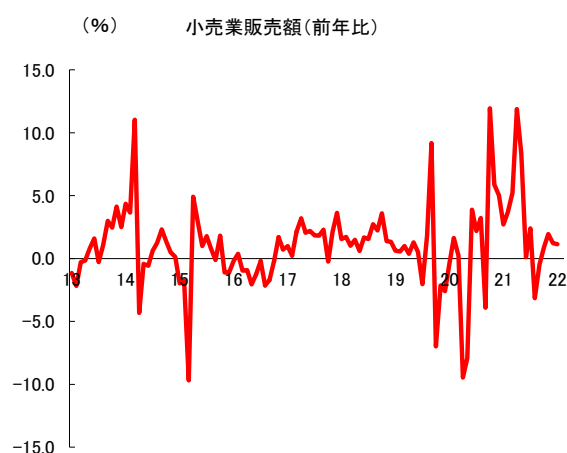
注:実績は日本銀行「短期経済観測調査」。見通しは第一生命経済研究所。

図表2



(出所)総務省「労働力調査」

図表3



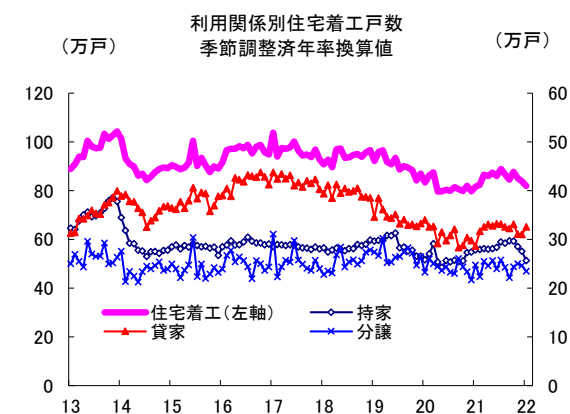
(出所)経済産業省「商業動態統計」

図表4



(出所)経済産業省「鉱工業指数」

図表5



(出所)国土交通省「建築着工統計」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

